

今年も残すところ、あと3か月となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

寺報第十九号をお届けいたします。ご一読ください。

### 「死は誰のものか」

最近では、「就活」ならぬ「終活」が有名になってきました。人生の終い支度のことです。お家お家の事情の中、どう後を託すかはとても大事なことです。

その中で、よくお葬儀や埋葬についての言及もされます。「お葬儀は挙げなくていい」「お墓はいらない」などです。理由は、後を託された方に“迷惑をかけたくない”からだそうです。

不思議なものですが、こうおっしゃる方は、ご自分のご両親や祖父母のお弔いを“迷惑をかけた”と感じていらつしやるのでしょうか。たぶん違うと思います。ある意味、謙遜なのでしょう。あまり負担のないように”ということなのだと思います。

そもそもお葬儀は何のためにあげるのでしょうか。

私たち浄土真宗の門徒は、生前の行為にかかわらず極楽浄土での往生が約束されています。どんな悪いことをしても、お浄土で阿弥陀さまや観音さまにヒザ詰めでお話を聞いて成仏することが決まっています。これを「即得往生住不退転」と申します。

ですから、お葬儀で追善供養（残されたものが善いことをして、故人の地獄行きを免れさせようとする必要ありません。必ず仏になることが決まっているからです）

「いや死んだら何にも無くなるのだから、何をしても意味がない」と仰る方もいらつしやいます。それならば、葬儀も不要でお墓もいらなかもかもしれません。死体をどこぞに捨てられればいいでしょう。

しかし、残された遺族の方にとっても同じことでしょうか。大事な親族のご遺体は、亡くなってしまったら意味のないものなのでしょうか。亡くなってからも大事なお父様やお母様なのではないでしょうか。

仏教でお葬儀をするのは、この亡くなってしまった大事なお父様やお母様と、新たに「仏さま」としての関係を結びなおす儀式なのです。墓地に埋葬するのも、残された人が故人を悼むモニュメント（追悼碑）としてあります。残された人が大事な故人を悼むためにあるのです。

自分の人生の終い支度をするのは、とても大事だと思います。しかし自分が往生しての後の事は、よくよくご親族の方たちと話されることをお勧めします。ご自分の希望と、親族の要望をよく話し合われて、残された人がお参りしやすいようにするのが一番かと思えます。



今年の報恩講に来てくださるのは、蓮如上人御旧跡「光闡坊」住持 佐野明弘師です。

佐野先生と私がお会いしたのは、先輩のお勧めで佐野先生に東京までご法話に来ていただいたことがご縁でした。

佐野先生自身はお寺の生ま  
れではなく、静岡のサラリー  
マンの家庭で育ったそうで  
す。その後、京都の大学で仏  
教にであり、卒業後に臨済宗  
のお寺で出家なさいました。  
六年ほどの修行の後、真宗大  
谷派の和田稠（わだしげし）  
師に出あわれます。その後真  
宗僧侶になられ、石川県加賀  
の蓮如上人御旧跡光闡坊（こ  
うせんぼう）の御住持になら  
れました。

佐野先生や和田先生が育て  
られた石川県加賀の地は、お  
念仏の篤いところです。私が  
以前伺ってびっくりしたこと  
がありました。

ある若い僧侶が勉強しただ  
けの浅い知識で仏教を語るこ

とがありました。そうした  
ら、周りのご門徒さんが「そ  
れがあなた（若い僧侶）の  
人生の中でどういう意味を  
持つのか。その教えが本当  
に、あなたが人生の中で苦  
難にあった時も生きていく  
ことのできるものになって  
いるのか」と問い詰めて来  
られるのです。私のことで  
す。ここには僧侶も門徒も  
なくて、仏法に自分の人生  
を照らされているかどうか  
だけが問題なのです。その  
後も、いろいろな門徒さん  
と何度も夜通しそういうお  
話しをしてきました。

そこは活きた仏教が、生  
きるための仏教が今なお  
瑞々しく息づいていること  
ろでした。今回、佐野先生  
のお話を通してそのような  
空気を感じていただけたら  
と思います。ただ役に立つ  
知識としての仏教と、自分  
が生きるための教えとして  
の仏教はどう違うのか。楽  
しみになさってください。

★お彼岸 九月十九日（月）～  
二十五日（日）

★報恩講 十月二十二日（土）

十月初旬に改めてご案内を  
致します



・住職ツイッター @syaku\_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

（1）まず寺に都合をお問い合わせ  
ください。

とくに土曜日・日曜日などは  
混み合いますので、お早めに  
ご連絡ください。

（2）ご法事参加の人数を、ご法事の

一週間前までにお知らせください。  
お願い…お葬儀をおつとめになる方は、  
日程が決まる前にお寺にご連絡ください。

他の方のお約束が入っており、  
先に決められた日程ではお受けできない  
場合がございます。

よろしく願いいたします。

★声明会（お経の練習会）

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約（急な法務等で変更あり）

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」（赤本）

450円

次回は 九月 十日（土）

十月 八日（土）

十一月 二十六日（土）

ご参加される方は、前もってご連絡  
ください。

電話 03（3471）3938

[shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp](mailto:shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp)

■当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ご本尊は 阿弥陀如来です。

■宗祖は 親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟（東本願寺）を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。